

# 高校生の政治・選挙に関する意識調査（まとめ）

平成28年7月実施

酒田市議会 議会改革推進特別委員会

# 高校生の政治・選挙に関する意識調査(まとめ)

- 目的 公職選挙法等の改正により、選挙権年齢が18歳以下に引き下げられてから初めての選挙が行われることを機に（平成28年7月10日実施 参議院議員通常選挙）、若い人の政治や選挙に対する意識を把握し、より政治や行政に関心を持ってもらうため、今後どのようなことを実施していくか検討するための基礎資料とするものです。
- 実施主体 酒田市議会 議会改革推進特別委員会
- 実施時期 平成28年7月
- 対象 市内高校に通学する3年生全員  
対象者数 994人  
回答数 951人（回答率95.7%）
- 調査方法 各高等学校を通じ、調査票を配布、回収を依頼した。

## 調査結果

※ 回答の割合（%表示）は、別に注釈があるもの以外は、回答のあった951人に対する割合です。

- 問1. 法律が変わり、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを知っていましたか。
- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 知っていた  | 937人（98.5%） |
| 2. 知らなかった | 13人（1.4%）   |
- 問2. 選挙年齢が18歳以上に引き下げられたことについて、どのように考えますか。
- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 1. よかった            | 239人（25.1%） |
| 2. どちらかと言えば、よかった   | 303人（31.9%） |
| 3. どちらかと言えば、よくなかった | 62人（6.5%）   |
| 4. よくなかった          | 32人（3.4%）   |
| 5. わからない           | 314人（33.0%） |
- 問3. 法律上、大人とみなされる「成人年齢」も18歳に引き下げられるべきという意見もあります。これについてどう思いますか。
- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 18歳より若くてもいい   | 25人（2.6%）   |
| 2. 18歳で成人にすべき    | 212人（22.3%） |
| 3. 現行どおり20歳でいい   | 604人（63.5%） |
| 4. 20歳より引き上げてもいい | 10人（1.1%）   |
| 5. わからない         | 98人（10.3%）  |

選挙年齢が18歳以上に引き下げられたことについては、「知っていた」と答えた方が98.5%となっており、おおむね周知がなされている結果となっています。

一方、選挙年齢の引き下げに対し、「よかった」、「どちらかと言えば、よかった」と答えた方は、あわせて57.0%、「よくなかった」、「どちらかと言えば、よくなかった」と答えた方はあわせて9.9%、「わからない」と答えた方が33.0%となっています。

選挙年齢の引き下げに対し、半数以上が肯定的な見方をしている一方、ほぼ3人に1人は「わからない」と回答しており、一定の戸惑いがうかがわれる結果となっています。

成人年齢の引き下げについては、「現行どおり20歳でいい」と答えた方が63.5%と多い一方、「18歳で成人にすべき」と回答した方も22.3%となっています。

問4. 18歳になって選挙権を得られたら、投票に行きますか。

1. 必ず行く	322人 (33.9%)
2. いまのところ行くつもり	397人 (41.7%)
3. いまのところ行かないつもり	57人 (6.0%)
4. 行かない	42人 (4.4%)
5. わからない	131人 (13.8%)

問5. (問4. で「1.必ず行く」「2.いまのところ行くつもり」と答えた方のみ、お答えください) その理由は何ですか(複数回答可)。 ※割合は、上記回答のあった719人に対する割合

1. 国民の権利だから	498人 (69.3%)
2. 政治に関心があるから	114人 (15.9%)
3. 政治を変えたいから	120人 (16.7%)
4. わからない	48人 (6.7%)
5. その他	25人 (3.5%)

- ・自らの意思を示し、国をつくるのが民主主義である。
- ・自分のことしか考えない政治家しかいなさそうだから。
- ・一人選ぶのに何百億円とかか掛かっているから
- ・若者の意見を反映させたいから
- ・政治は国民が決める事だから
- ・選挙には膨大なお金が掛かっているから
- ・自分の1票で国が良くなるかもしれないから
- ・若い人の意見も反映してくれる世になってほしい
- ・政治家の考えを変えさせ、若者の意見を取り入れてもらうため
- ・私たち国民がしっかりとしなければならぬから
- ・初めてなので選挙がどういうものか知りたいから
- ・若い人々の意見を反映させるために法律を変えたいから、若い人々の意見を届けるため
- ・自分の一票で未来が変わるかもしれないので、自分が良いと思ったところに投票したい
- ・親に言われたから
- ・行くように言われたから
- ・日本を救いたいから
- ・初めてだから行ってみたい
- ・行く事で何か変わるかもしれないから
- ・国民の義務だと思うから
- ・興味がある
- ・一度行ってみたいから
- ・なんとなく

問6. (問4. で「4.行かない」「3.いまのところ行かないつもり」と答えた方のみ、お答えください) その理由は何ですか(複数回答可)。 ※割合は、上記回答のあった99人に対する割合

1. 面倒だから	32人 (32.3%)
2. 政治に関心がないから	38人 (38.4%)
3. 投票しても政治は変わらないから	35人 (35.4%)
4. わからない	34人 (34.3%)
5. その他	11人 (11.1%)

- ・まだ政治に関する知識が十分でなく、しっかり学んだ上で判断する方が日本のためだと思うから
- ・自分の一票の重さについて重く感じられないため
- ・無知で未熟な我々に選挙権意味ない
- ・政治について詳しく知っているわけじゃないから
- ・自分の1票で何も変わる気がしないから
- ・親も行っていないから
- ・勉強
- ・誰に投票していいかわからない

投票に、「必ず行く」、「いまのところ行くつもり」と答えた方は、あわせて75.6%となっており、投票に対する意識の高さを一定程度うかがえる結果となっています。その理由として、「国民の権利だから」と答えた方が69.3%と一番多く、「政治を変えたいから」が16.7%、「政治に関心があるから」が15.9%と続いています。反対に、投票に「行かない」、「いまのところ行かないつもり」と答えた方は、あわせて10.4%で、その理由としては、「政治に関心がない」、「投票しても政治は変わらない」、「面倒だから」、「わからない」と答えた方がほぼ同程度となっています。

問7. 同世代の友人と政治に関する話をすることがありますか。

1. よくする	44 人 ( 4.6%)
2. 時々する	186 人 ( 19.6%)
3. あまりしない	374 人 ( 39.3%)
4. まったくしない	344 人 ( 36.2%)
5. その他	2 人 ( 0.2%)

〔 ・意見が必ず対立するし、意見を通した友人の表情が見えてくるのが嫌なのでなるべく避けている  
・マイナスなことを起こした議員の話しかないから 〕

問8. 家族と政治に関する話をすることがありますか。

1. よくする	81 人 ( 8.5%)
2. 時々する	338 人 ( 35.5%)
3. あまりしない	307 人 ( 32.3%)
4. まったくしない	224 人 ( 23.6%)
5. その他	0 人 ( 0.0%)

問9. 国の政治に関心がありますか。

1. 関心がある	143 人 ( 15.0%)
2. 少し関心がある	390 人 ( 41.0%)
3. あまり関心がない	268 人 ( 28.2%)
4. まったく関心がない	65 人 ( 6.8%)
5. わからない	84 人 ( 8.8%)
6. その他	0 人 ( 0.0%)

問10. あなたの住んでいる市町村の政治に関心がありますか。

1. 関心がある	81 人 ( 8.5%)
2. 少し関心がある	289 人 ( 30.4%)
3. あまり関心がない	360 人 ( 37.9%)
4. まったく関心がない	127 人 ( 13.4%)
5. わからない	89 人 ( 9.4%)
6. その他	0 人 ( 0.0%)

問11. 政治に関する情報をおもに何から得ていますか (2つまで回答できます)。

1. 本	21 人 ( 2.2%)
2. 新聞	160 人 ( 16.8%)
3. テレビ	709 人 ( 74.6%)
4. パソコン (インターネット)	71 人 ( 7.5%)
5. スマートフォン (インターネット)	402 人 ( 42.3%)
6. 学校の授業	97 人 ( 10.2%)
7. 街頭演説	11 人 ( 1.2%)
8. 特に得ていない	64 人 ( 6.7%)
9. その他	7 人 ( 0.7%)

〔 ・党首討論 ・父 ・家族 ・祖父母 ・ポスター 〕

国の政治に、「関心がある」、「少し関心がある」と答えた方は、あわせて56.0%と、半数以上を占めています。反対に、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた方は35.0%と、ほぼ3人に1人の割合となっています。

また、市(町村)の政治に、「関心がある」、「少し関心がある」と答えた方は、あわせて38.9%、反対に、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた方は51.3%と、半数以上となっています。

政治に関する情報についても、テレビ、インターネットから得られる情報量が大部分を占めていることも影響しているものと考えられます。

問12. 今、興味がある課題は何ですか（3つまで回答できます）。

1. 経済政策・景気対策	448人（47.1%）
2. 交通網の整備（道路、空港、港の活用など）	54人（5.7%）
3. 防災・減災対策	126人（13.2%）
4. 医療・福祉	237人（24.9%）
5. エネルギー政策	85人（8.9%）
6. 人口減少対策（地方創生など）	157人（16.5%）
7. 教育・子育て支援	317人（33.3%）
8. 雇用対策	180人（18.9%）
9. 産業の振興や活性化	65人（6.8%）
10. 観光整備・観光開発	70人（7.4%）
11. 年金・社会保障	168人（17.7%）
12. わからない	133人（14.0%）
13. その他	30人（3.2%）

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の活性化</li> <li>・国の財政が赤字であること</li> <li>・人文学部について</li> <li>・他の国との関わり</li> <li>・国の安全保障</li> <li>・自衛隊の位置付け</li> <li>・憲法改正について</li> <li>・不正なものも含め、国のお金の使い方</li> <li>・9条以外にも憲法の改正について</li> <li>・東京都知事について</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・返金不要の奨学金について</li> <li>・国会議員削減</li> <li>・外交</li> <li>・環境問題</li> <li>・国防関係</li> <li>・憲法改正</li> <li>・災害復興</li> <li>・原発</li> <li>・安全保障</li> <li>・舛添問題</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IS</li> <li>・消費税</li> <li>・国会</li> <li>・防衛</li> <li>・憲法</li> <li>・安政法制</li> <li>・北方・領土問題</li> <li>・外交問題</li> <li>・オリンピック</li> <li>・農業</li> <li>・EU</li> <li>・戦争</li> </ul> |
|---|--|--|

問13. 日本の将来についてどう感じますか。

1. よい方向に進んでいる	28人（2.9%）
2. どちらかと言えば、よい方向に進んでいる	205人（21.6%）
3. どちらかと言えば、悪い方向に進んでいる	279人（29.3%）
4. 悪い方向に進んでいる	92人（9.7%）
5. わからない	343人（36.1%）
6. その他	3人（0.3%）

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらとも言えない</li> <li>・若者にとっては悪く、高齢者にとってはよく進んでいる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アベノミクスは特に意味がないと思う</li> </ul> |
|--|--|

今、興味がある政治課題としては、「経済政策・景気対策」、「教育・子育て支援」、「医療・福祉」、「雇用対策」の順に多くなっています。就職や進学など大切な時期を控え、これらに大きく影響する政策課題や分野に特に関心が高いことがうかがわれます。

日本の将来についてどう感じているか、との問いには、「よい方向に進んでいる」、「どちらかと言えば、よい方向に進んでいる」と回答した方があわせて24.5%、反対に、「悪い方向に進んでいる」、「どちらかと言えば、悪い方向に進んでいる」と回答した方があわせて39.0%、「わからない」と回答した方が36.1%となっています。

問14. 最近の選挙の投票率が低いことについて、どう思いますか。

1. 問題がある	507 人 ( 53.3% )
2. やや問題がある	256 人 ( 26.9% )
3. あまり問題ではない	33 人 ( 3.5% )
4. 問題ではない	30 人 ( 3.2% )
5. わからない	120 人 ( 12.6% )
6. その他	4 人 ( 0.4% )

[ ・当然の結果である、しかたない                      ・しかたのないこと      ・良いことだと思う ]

問15. 特に、若い人の投票率が低いことについて、どう思いますか。

1. 問題がある	543 人 ( 57.1% )
2. やや問題がある	211 人 ( 22.2% )
3. あまり問題ではない	41 人 ( 4.3% )
4. 問題ではない	29 人 ( 3.0% )
5. わからない	118 人 ( 12.4% )
6. その他	7 人 ( 0.7% )

[ ・老年人口が多すぎる今の日本では若者が全員投票したとしても確実に老人には勝てないという調査報告が出ているため、低いのも仕方がない。  
・自らの意思を示し国を作るのが民主主義である                      ・当然の結果である、仕方ない  
・若者向けの政策がないから低いと思う                                      ・自分が行かないとまずい  
・国民に興味を持たせるような政治をしてほしい。議員個人の問題が多すぎる ]

問16. 文部科学省と総務省が作成した、選挙や政治に関する高校生向け副教材『私たちが拓（ひら）く日本の未来』を読みましたか。

1. 学校で配布され、きちんと読んだ	42 人 ( 4.4% )
2. 学校で配布され、少し読んだ	147 人 ( 15.5% )
3. インターネットできちんと読んだ	13 人 ( 1.4% )
4. インターネットですこし読んだ	21 人 ( 2.2% )
5. 学校で配布されたが、読んでいない	141 人 ( 14.8% )
6. 知らないし、読んでいない	562 人 ( 59.1% )
7. その他	6 人 ( 0.6% )

[ ・知っているけど読んでいない、配られたか分からない                      ・多分読んだが覚えていない  
・もらったか記憶にない    ・覚えていない  
・学校から何も伝わっておらず存在を知らなかった ]

問17. (問16で「1. 学校で配布され、きちんと読んだ」「2. 学校で配布され、少し読んだ」「3. インターネットできちんと読んだ」「4. インターネットですこし読んだ」と答えた方にお聞きします) 読んでどう思いましたか。

※割合は、上記回答のあった223人に対する割合

1. 興味深く、役に立った	41 人 ( 18.4% )
2. まあまあ役に立った	150 人 ( 67.3% )
3. 役に立たなかった	8 人 ( 3.6% )
4. 興味がなかった	15 人 ( 6.7% )
5. その他	1 人 ( 0.4% )

問18. (問16で「1. 学校で配布され、きちんと読んだ」「2. 学校で配布され、少し読んだ」「3. インターネットできちんと読んだ」「4. インターネットですこし読んだ」と答えた方にお聞きします) 理解のしやすさはどうでしたか(複数回答可)。

※割合は、上記回答のあった223人に対する割合

1. 理解しやすかった	54人 (24.2%)
2. まあまあ理解しやすかった	121人 (54.3%)
3. すこし理解しにくかった	14人 (6.3%)
4. 理解しにくかった	9人 (4.0%)
5. その他	0人 (0.0%)

問19. 選挙に関して、学校でどのようなことを学びたいですか。

1. 有権者の役割	150人 (15.8%)
2. 選挙制度について	121人 (12.7%)
3. 選挙運動について	53人 (5.6%)
4. 投票の仕方や手順	100人 (10.5%)
5. 議員の役割	89人 (9.4%)
6. 政治情勢	279人 (29.3%)
7. わからない	180人 (18.9%)
8. その他	6人 (0.6%)

{

 ・各党の実際している事  
 ・学ばなくてよい
 

 ・別に知らなくていい  
 ・not マニフェスト ・各党の特徴
 
}

問20. 選挙に関して、学校でどのような学習体験をしてみたいですか。

1. 模擬選挙	208人 (21.9%)
2. 模擬請願	14人 (1.5%)
3. 模擬議会	49人 (5.2%)
4. ディベートによる政策議論	91人 (9.6%)
5. 地域課題の把握や探究	81人 (8.5%)
6. 議会の見学	141人 (14.8%)
7. わからない	115人 (12.1%)
8. 特にない	251人 (26.4%)
9. その他	0人 (0.0%)

問21. 差し支えなければ、住んでいる市町村をおしえてください。

酒田市	571人 (60.0%)
庄内町	37人 (3.9%)
遊佐町	54人 (5.7%)
鶴岡市	16人 (1.7%)
にかほ市	5人 (0.5%)
新庄市	3人 (0.3%)
由利本荘市	1人 (0.1%)
戸沢村	1人 (0.1%)

最近の選挙の投票率が低いことについては、80.2%の高い割合の方が、「問題がある」と考えています。同様に、特に若い人の投票率が低いことについても、79.3%の方が「問題がある」と回答しています。

学校を通じ配布されている、高校生向け副教材『私たちが拓(ひら)く日本の未来』については、読んでいない、あるいは忘れていると思われる方が半数以上を占めています。何らかのかたちで読んだという方は、全体の23.5%であり、そのうち、「役に立った」、「まあまあ役に立った」という方は85.7%、「理解しやすかった」、「まあまあ理解しやすかった」という方が、78.5%を占めています。

また、選挙に関して学校で学びたいことは、「政治情勢」や「有権者の役割」、「選挙制度」の順に多く、また、行ってみたい学習体験については、「特にない」、「わからない」という回答以外に、「模擬選挙」や「議会の見学」、「ディベートによる政策議論」をしてみたいという回答も多く寄せられました。

問22. 国や地方、住んでいる市町村等の政治や選挙制度などについて、日頃から考えている事や意見、提言などがあればお書きください（身近なことでも結構です）。

（選挙について）

- ・立候補者の公約をもっと身近に知ることができると、もっと選挙に行こうと思える。
- ・投票場所等誰もが見るような場所に掲示した方がよい。
- ・選挙をしても政治が変わる気がしない。
- ・演説内容をテレビでもっと放送すれば関心が深まると思っている。
- ・選挙の投票を義務化すべき。
- ・せっかく選挙権があるのに投票に行かないなんてすごくもったいないと思う。投票に行かない人には罰金を取るくらいしないと投票率は上がらないのではないのでしょうか。
- ・自分達の事なのになぜ投票に行かないのか。
- ・選挙に行く権利があるにもかかわらず、行かない人が国の政治などに文句を言うのはおかしいと思います。
- ・どの人が政治家になっても同じような政策しかないから、誰に投票するればいいのか分からなくなる。
- ・学校の授業中やテスト中に選挙運動されるとうるさいし、気が散る。
- ・高校の前で大音量で選挙活動するのは大変迷惑なので、やめていただきたい。
- ・選挙権を権利ではなく義務化したら投票率ももっと上がるのではないかと思います。
- ・18歳に下げられたのでよかった。
- ・授業中選挙カーがうるさい。自分のアピールばかりでなくもう少し周りの事を考えてほしい。朝もうるさい。
- ・選挙カーがうるさい。必死になるのは分かるけど、周りに住んでいる人の事を考えてほしい。
- ・若者が選挙に行かなければ、上の年代の人から結局「日本の若者は」と言われてしまう。
- ・議員さんの報酬と選挙費が高い。報酬で選挙費を出すべきだと思う。

（市政等について）

- ・交通網の整備をしてほしい。
- ・少子高齢化・福祉部分でもっと連携して雇用拡大を。
- ・酒田市のマスコットキャラクターを初めて知りました。もっとアピールしてください！！
- ・スポーツ設備を整えてほしい。
- ・高齢者の増加。空家問題。
- ・県の政治は県内民放等で伝わると思うが、市議会については分かりにくい。インターネットでの生放送など積極的に活用してほしい。
- ・駅前は何もないし、子供が集まって楽しめるところもないし、つまらない。
- ・中町はシャッター街が多いし、長く住みたいとはあまり思わない。
- ・るんるんバスをもっと増やしてほしい。
- ・子どもを増やすということの対策を。
- ・市民の声を聞き、せめて反映しているように見せるくらいしてほしい。
- ・やる事がワンパターン。もっと他の市町村がしていないことを取り入れるべき。
- ・高齢者向けの政治になっているので、若者が関心を持てるように投票に行きやすいようにしてほしい。
- ・地域を活性化させるような政治をしてほしい。
- ・就職しやすい市にしてほしい。
- ・ゴミ収集所に来るカラス対策。
- ・市役所に行ったときに、皆のんびり仕事しているような気がしました。
- ・酒田市の中町が、シャッター街になっていて閑散としているのが寂しいです。身近なお店が閉店していくのも寂しいです。
- ・若者に喜ばれる政策を作してほしい。
- ・住んでいる人だけでなく、訪れる人がもっと過ごしやすい街づくりをしてほしい。

### (国政等について)

- ・ 国債を若い世代に負の遺産として残すのはやめてほしい。
- ・ 今までの人たちの借金を私達に背負わせないでください。
- ・ 学生にやさしい政治を。
- ・ このままだと老人が優遇される政策が増え、若者の負担が大きくなる。
- ・ 税金を上げたが何か国民の利益になるような事があまりない気がする。上げた意味をもっと考えてほしい。
- ・ イギリスのEU離脱のように、残留派の多い若者達をもっと選挙に参加していれば、残留に決まったかもしれないことを日本で考えてみるべきだ。
- ・ 公約で宣言したことが実際成功するのかわからないし、ただ車に乗って市町村を回っているだけじゃ若い人達の関心は引き付けられない。
- ・ EU離脱の件で日本にも影響が及ぶと聞いたので、少し不安もある。国などから徹底して挽回してもらいたい。
- ・ 憲法改正反対。
- ・ 集団的自衛権いらぬ。このままだと戦争になるかも、といつも父と話しています。
- ・ 税金の使い道をはっきりと国民に示してほしい。
- ・ 議員の報酬を減額し、減額分を社会保障に充ててほしい。
- ・ 国を変えたい。
- ・ 現在の独裁は嫌である。
- ・ 最近の野党は反首相的な批判ばかりで、中身がスカスカだと思う。
- ・ 保育士の給料をもっと増やしてほしい。
- ・ 地方の商店街などの活性化。

### (議会・議員等について)

- ・ 政治や選挙に若い世代が触れやすい環境を設けるべき。
- ・ 現在何を行なっているか、情報が分からない。
- ・ 汚職事件が多いため信用に値しない。
- ・ 金に汚い。
- ・ 国会議員の報酬、ボーナス減らして。
- ・ 国会議員はちゃんと仕事をしてほしい。
- ・ 国会や議会の様子を中継で見ていると、小学校以下の議会のやり方だと思う。
- ・ 党が多い。税金の無駄遣いだ。
- ・ 国会議員がどれだけ頑張っていてどのくらいの報酬をもらっているか、広く知れるようにした方がよい。
- ・ 税金を無駄遣いしなくて、きれいごとを言わない政治家になってほしい。
- ・ 国会中に寝ている議員がいて役に立たない。
- ・ 会議中に寝ているのにお金がもらえるのってどうなのでしょう。
- ・ 議員の質が低い。年寄りばかり。政治で何をしたいのか、分かりやすく語ってほしい。
- ・ 若い人にも分かる言葉で。
- ・ もっといい人を選べるような選挙にしてほしい。

### (その他)

- ・ マスメディアによる誤報や世論操作、ポピュリズムに対して非常に懸念を抱いています。
- ・ 景気が良くなればいい。
- ・ 高校生では景気が良くなったなどの実感がない。
- ・ 若者に対して、社会的に厳しいのではないかと思う。
- ・ 私達若い世代にもっと政治に参加・貢献させてほしい。

## ま と め

### ～ 若い世代にも開かれた議会を目指して ～

高校3年生を対象に行った今回の調査結果では、選挙権年齢の引き下げに対し、半数以上が肯定的な見方をしているものの、ほぼ3人に1人は「わからない」と回答しています。一方で、75%以上の方が「投票に行く」と答えており、戸惑いは見られるものの、全体としては投票に対する一定程度の意識の高さをうかがうことができました。

また、政治に対する意識としては、国の政治に「関心がある」、「少し関心がある」と答えた方は、あわせて半数以上を占めていますが、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた方もほぼ3人に1人の割合となっています。さらに、市(町)の政治に対しては、「関心がある」、「少し関心がある」と答えた方は、あわせて38.9%ですが、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた方は51.3%と半数以上となっています。全般的な、政治や行政などに対する関心の薄さが、低い投票率に結びついていることが裏付けられる結果となっています。

若い世代の投票率向上のため、これまでも、選挙管理委員会による出前講座や模擬投票などの啓発活動が行われてきました。また国でも、高校生の政治的教養を育むため、新しい副読本を作成し、生徒に配布しています。

「18歳の選挙権」には就職や進学による環境の変化が、投票行動に大きく影響を与えると言われてしています。特に18歳、19歳の皆さんは、それぞれに大変な時期かと思いますが、これから本格的に社会へ参加される皆さんですから、ぜひ身近なところからでも、政治や行政に目を向けていただきたいと思います。

議会としても、これまでも行ってきた議会報告会や「さかた市議会だより」の配布などに加え、今後、大学生や高等学校の生徒会など若い人との意見交換を通じ、選挙への参加や政治活動への理解を周知していきたいと考えています。

また、市民に一層身近な議会となるよう、インターネット中継や会議録検索システムの整備、更新などの取り組みなども進めています。若い世代の方々が、より政治や選挙に関心を持てるよう、わかりやすい議会、開かれた議会を目指し、今後も取り組んでいきたいと考えています。